



「帯西イエロー」の心を育む子供たち

今朝、交通指導に立っていたら、運動場横の通学路に箒や桶を手にした6年生が続々と集まって来ました。実は、台風の翌日とあって、たくさんの落ち葉が通学路に溜まっていたのです。私も朝から落ち葉の多さに閉口していましたが、6年生が指示を出さずとも自ら行動している姿がそこにはありました。手際よく落ち葉を掃き、桶に入れる作業がスムーズで無駄な動きがありません。この所作は一朝一夕では身に付かないなと思いながら見ていました。また、そういう姿を見て下級生が育っています。その証に、5年生も落ち葉掃きを正門周辺などで汗を流し、伝統をしっかりと受け継いでいます。全国津々浦々、1年生の姿は大体同じなのですが、6年生の姿は、学校によって大きく違ってきます。これからも、帯西レンジャーが子供たちと共に活躍しながら、成長の実感を子供たちに味わわせ、小さな成長を積み重ねていきたいと思います。今朝のように「働く喜びをもち、みんなのために役立つ」という「帯西イエロー」の心をはたらかせてくれた6年生の姿に感謝します。



登下校気を付けて!

今週は、職員が通学路に立って、交通指導をしています。そこで地域の方から寄せられた声と職員の気づきをお知らせしますので、家庭での話題にしてください。

- 横断歩道を渡るとき、子供たちが左右を確認していない。
- 車が善意で止まってくれたが、子供は下を向いており、わかっていない。アイコンタクトをした方がいい(頭を下げる等)。
- 目の前で、自転車の高校生とぶつかりそうになった子供もいた。周囲の確認をした方がいい。

昨日、子供たちの通学路の一斉点検を行ったように、学校はハード面の確保に努めていきますが、交通マナーやルールを守るためのソフト面の確立は、家庭と学校とで協力して取り組んでいくようにしたいと思います。共通理解と共通実践をお願いします。

